

2022年9月17日

ARO協議会第9回学術集会

CPC専門家連絡会 活動報告

(2021年7月～)

CPC専門家連絡会 代表

加 畑 馨 (北海道大学)



代表・副代表の交代

2013年6月
CPC専門家連絡会発足

2022年4月

代表 川真田 伸 (神戸医療産
業都市推進機構)

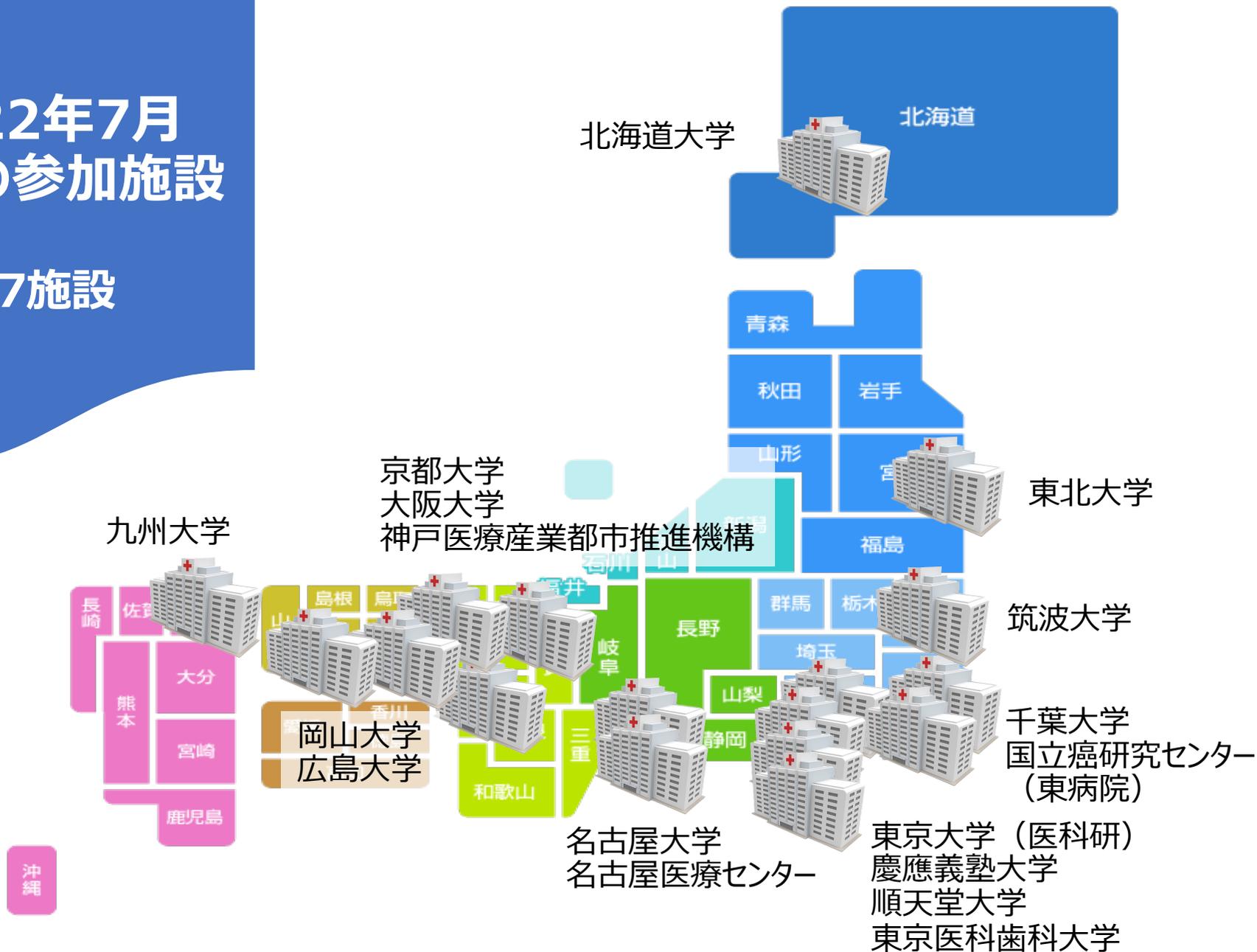
副代表 笠井 泰成 (大阪大学)

代表 加畑 馨 (北海道大学)

副代表 田所 美香 (大阪大学)

2022年7月 現在の参加施設

17施設



第18回 CPC専門家連絡会

2021年10月19日
完全WEB開催
参加：16施設

第18回 CPC専門家連絡会 議事

- 各施設近況報告
 - 研究開発業務に加え**診療支援業務が増加**（ハートシートやキムU/A、群馬移植など）
 - 間葉系幹細胞のソース確保のためのCンキングへの取り組み
- アカデミアCPCにおける研究開発支援と診療支援の両立
 - 診療支援業務による稼働率の上昇や増収が期待される
- CPC専門家連絡会の成果の公開方法
 - 今後はARO協議会のHPへの掲載や学会発表を視野に入れ活動していく

第19回 CPC専門家連絡会

2022年4月22日
完全WEB開催
参加：13施設

第19回 CPC専門家連絡会 議事

- 代表・副代表の交代報告
- 各施設近況報告
- 持続可能なCPC運営のために
 - CPC維持のための収入を持続的に確保するためには、大型研究費に依存しない運営費用の確保が必要
 - CPC使用料の適正化
 - 診療支援業務による増収、ただし現在の診療報酬では不十分であり、関連学会と協議し厚労省への働きかけが必要
 - RBMによる支出の抑制
 - 作業内容による設備や運用レベルの検討
 - CPCの在り方～集約か分散か、AROが自立か診療部門か

第9回 学術集会 専門家連絡会企画 シンポジウム開催

昨日開催
「遺伝子細胞治療を
支えるウイルス・ベクター
製造の課題克服に
向けた取り組み」

第18回 CPC専門家連絡会 議事

- 各施設近況報告
 - 研究開発業務に加え**診療支援業務が増加**（ハートシートや**キムリア**，**臍島移植**など）
 - 間葉系幹細胞のソース確保のためのバンキングへの取り組み
- アカデミアCPCにおける研究開発支援と診療支援の両立
 - 診療支援業務による稼働率の上昇や増収が期待される
- CPC専門家連絡会の成果の公開方法
 - 今後はARO協議会のHPへの掲載や学会発表を視野に入れ活動をしていく

第19回 CPC専門家連絡会 議事

- 代表・副代表の交代報告
- 各施設近況報告
- 持続可能なCPC運営のために
 - CPC維持のための収入を持続的に確保するためには、大型研究費に依存しない運営費用の確保が必要
 - CPC使用料の適正化
 - 診療支援業務による増収、ただし現在の診療報酬では不十分であり、関連学会と協調し厚労省への働きかけが必要
 - RBAによる支出の抑制
 - 作業内容による設備や運用レベルの検討
 - CPCの在り方～集約か分散か、AROか自立か診療部門か

今後の活動予定と課題

- 10月21日（金）に第20回連絡会をWEB開催予定
【主な議案】
 1. 各施設の近況報告
 2. 診療支援によるCPCの活用状況と課題（アンケート調査報告）
- RBAによるCPC運営の適正化
 - 設備・運用の両面より検討
- 実臨床における再生医療・細胞治療の安全性確保のための提案
 - 再生医療等製品・細胞製剤の取扱（*in vivo*遺伝子製品を含む）
 - 人材育成の重要性